

3. 住みよい地域づくり

やすらぎのある街づくり

自然環境を保全し、安らぎ感のある水辺や豊かな空間を有する道路などさまざまな整備を進めています。心のゆとりや潤いに富んだ環境創出に取り組んでいます。

親水・環境に配慮した川づくり

河川水質の向上

射水市の内川は、家庭排水や食品加工工場からの汚水が停滞蓄積し、著しい汚濁河川でした。こうした実状に対して流域住民の生活環境の保全を行い、水質基準を満足した河川にするため、下水道の整備や庄川から河川浄化用水を導入し、水質の改善を図っています。



内川流域浄化揚水機場
取水樋管



水質が改善された内川

水生生物調査

富山県内の小中学生等が参加して、水生生物によって水質を調べる水生生物調査を実施しています。また、「水辺の楽校」では、その周辺の水辺環境を生かし体験できるように計画しています。

河川を子供たちの環境教育・体験学習の場とし、自然の中で学べる「水辺の楽校」を庄川や小矢部川で整備しています。



暮らし・景観・環境に配慮した道づくり

人と地球にやさしい道づくり

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的とした「京都議定書」では、日本は2008年～2012年に温室効果ガスを6%削減することを義務づけられました。

富山県の道路事業でも、地球温暖化防止を目的として、交通の円滑化を図ることにより、温暖化ガスである自動車からのCO₂排出量を抑制する対策を推進していきます。

美しい都市景観づくり

「美しい国づくり」の一環として、無電柱化や景観に配慮した防護柵、標識柱の整備を進めています。



無電柱化整備後(高岡市本丸町)

環境を考えた道づくり

国道8号射水市(白石交差点～小白石交差点)で、国道横断防止を目的として間伐材を利用した防護柵を整備しました。



防護柵

河川敷の利用

広々とした河川敷は、洪水を流すだけでなく平常時は、安全で快適な散策やジョギングコース等として利用でき神通川や庄川では、健康ウォーク大会やマラソン大会が開催され多くの市民が参加されています。また、豊かな自然や川の文化の伝承を目的に、「水辺プラザ」等の情報発信と交流の拠点を整備しています。水辺プラザでは、自然環境を活かし、多目的広場等が整備されています。



ふれあいロード(砺波市)



神通川水辺プラザ(富山市)